

第六期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップの実施結果について

第六期長期計画・調整計画策定に向け、令和 2 年 4 月の第六期長期計画開始以降に生じたさまざまな社会情勢の変化を踏まえた市民意見を聴取するため、5 月に市民ワークショップを実施しました。

実施にあたっては、普段市政に参加する機会があまりない市民の方から広く意見をいただくことを目的に無作為抽出によって参加者を募集するとともに、コロナ禍において広く参加の機会を確保するため、オンラインで実施しました。なお、オンラインでの参加が難しい方向けに、8 月に対面型のワークショップを同内容で実施しました（後日報告予定）。

5 月のワークショップの詳細につきましては、別添の報告書のとおりですが、下記にて実施結果の概要をお示しします。

記

1 実施結果

日 時：A 令和 4 年 5 月 22 日（日）午後 1 時から 5 時

B 令和 4 年 5 月 29 日（日）午後 1 時から 5 時

形 式：オンライン（ZOOM）

参加人数：A 26 名 B 26 名

対 象：住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の市民 1,500 人のうち参加を承諾した方

※抽出日は令和 4 年 3 月 15 日

そ の 他：両日ともに、市民ファシリテーター 9 名が参加し、全体進行及び各グループでの進行を担っていただいた。

2 当日の進行概要

(1) ワークショップや第六期長期計画・調整計画策定の流れ等について説明

(2) グループワーク

<テーマ>

①この 2 年間の生活でどんな変化があったか。その変化はよい変化か、悪い変化か。

②悪い変化を良い変化にするにはどうしたらよいか。

③良い変化をさらに良くするにはどうしたらよいか。

※ 6 グループ（1 グループの参加者は 4～5 名程度）に分かれて意見交換

※意見出しには、ホワイトボードツール（MIRO）を活用

(3) 全体共有

3 主な意見

変化	良くするためには
地元の個人商店が閉店チェーン店の増加	手続きを簡略化した給付金制度の創設とわかりやすい広報クラウドファンディングなど地元店舗を応援する仕組みを構築
オンラインでの会議やイベントの機会が増加	若い世代が高齢者等苦手な方をサポートできる仕組みを構築情報機器への助成制度や利用促進に向けたイベントの開催
在宅ワーク等が進み自宅時間が増加	サテライトオフィスを設け、環境が整っていない方向けに開放市の歴史や学問などを学べる場所を提供
外出機会や通勤機会が減少し、運動不足	自宅でできる運動啓発動画を作成 市民から運動アイデアを募集し、体育館の SNS 等で情報発信
学校行事や部活動の中止 オンライン授業の導入	新たな教育環境へ適応するための教員の働き方改革の推進 I C Tスキル習得に向けた教員への支援の充実
友人との交流やコミュニケーションの減少	オンライン等を活用した新たなコミュニティの創出 必要な情報を必要なタイミングで提供できる体制の確保